

御社長の「株式 FX」研究

その一：証券為替の黄金律数理予測(当り外れも八卦)

第1 2023年5月も日柄は「黄金律」

人が見て「美しい」と思う四角形比率 $1:1.618$ が「黄金律 Golden Ratio」である。その機能は物理界にも有るようだ。2023年5月の株価ピークの日柄は、幾つもの黄金律が重なって説明できる重要日柄である。

但し、投資に使いたいその日柄の出現は、フィボナッチ数列で出現する「樹木の枝」の伸び方の如く、厳然たる数理ではあるが、絶対的ではないように見える。幾つも異なる日柄がある場合は自然の摂理によりその一つの日柄が顕現する。だから、株式・FX投資に関して、黄金律に拠る日柄の顕現に関して、本当の事実は、今後の研究を待たなければならない。

だから、その日柄で「株価・為替相場」の日柄を判断すると、「当たるも八卦・外れるも八卦」となってしまう。しかし「何〜だ」と蔑むことはない。当該相場は、間違いなく「繰り返す波」、即ち波動で動いている。波動には趨勢がある。当該相場の波動は、日柄として月日まで黄金律を顕現することが少なくない。面白い自然現象である。

第2 黄金律の数理

人の美意識「黄金律($1:1.618$)」で展開する内角 540 度の正五角形の数理を説く人がいる(京大卒三菱銀行出身/研究30年歴のNY在住若林栄四氏)。知能の高さと専門経歴の長さを根拠に小生は樹木の枝が生えるフィボナッチ自然数列に沿う珍奇な黄金律数理を評価している(樹木の枝生えの法則同様に絶対性に欠けるが当たる場合が多い)。

例えば、明治維新(王政復古)の1868年1月3日から、黄金律 1.618 単位の半分 80.9 年の1948年11月、戦勝国の支配がはじまった(東京裁判判決が下り米国陣営の吉田長期内閣が発足)。明治維新から日本帝国崩壊1945年8月迄の 77 年 8 月は、黄金律 540 単位の長期 $1/7$ の 77.14 単位(年)に近い。

1945年8月敗戦から回復局面の残り半分 80.9 年後は2026年7月頃に当たる。黄金律では1945年8月から 54 単位(年)の1999年(1998年12月)は、日本株のピークがあり以後に暴落局面を迎えた。次の株高ピークは八卦では2028年9月頃から2030年迄である。しかし2025年から2029年1月迄はトランプ大統領の政権かである。大きな経済変化が予測でできる。ひょっとしたら右派には顰蹙を買いそうな「北朝鮮ディール」で日本にも神風が吹くかもしれない。元々北朝貿易が適法な中国には、中国古米の輸出用冷凍棟を用意して貿易する実業家もいる。

第3 黄金律の展開

上記の「正五角形」の黄金律展開は、「八卦」にしては、過去の投資日柄の解析として説得力を持つ実績がある。特に内角和 540 度や、黄金律 1.618 を「単位」とする解析は、多くの類似数値があり、またフィボナッチ数列で顕現する「樹木の枝別れ現象」よろしく、絶対的に現れるものではないので、投資日柄の過去解析は別として、投資予測としては、やはり現況としては「八卦」の域をでないと感じる。この日もあの日も「日柄」である場合は、ひょっとしたら自然現象として必然的な選択肢があって、それが「日柄」に顕現されているのかもしれない。しかし、その自然現象の選択肢は複数個ある場合に、その日柄のパワーによるのか、過去の経緯の妥当性によるのか不明であるが、その「日柄」そのものの黄金律に掛かる正当性に問題はないのかも知れない。

第4 能書きはそこまでにして

「八卦」を前提として、確率の高い投資日柄を幾つか紹介したいと思います。

(1) 2025年8月15日

NYドル相場として、NY 時間1971年 8 月15日のニクソンショックから、54年(黄金律の一つである正五角形内角和540単位の日柄)に当たる。米政府として金ドル兌換停止の苦慮は、54年目の日柄にドル暴落として映る筈である。但し、D.トランプ氏の「2025年4月から日本自動車25%関税」のような時事要素が、その日柄に元々織り込まれているのかどうか？小生も分からない。既決運命的な自然現象の日柄であるなら、結構キツイ現象となる。当たるも外れるも「八卦」である。

(2) 27年2月14日/3月18日

1945年9月戦後の東証再開からNY 時間1973年2月14日、円ドル306円台で現実の為替変動相場が始まった。その日の日経平均株価終値は4,984円88銭。また、1968年3月18日当時の米国国会が金ドル兌換停止法案を通過させていた。それから黄金律系数理で正五角形の高さ59単位(59年)が2027年3月18日に当たる。やはり、元々の日柄としては、米ドル下落相場の日柄である。

(3) 2028年8月15日

1978年12月29日東証株価が38957円のピークを付けた。
それから54年2023年8月15日の重要日柄を経て
1968年3月18日から59年